

# 事務事業シート(実施計画事前基礎シート)

(H.25)No.	1201	(H.24)No.	1201
-----------	------	-----------	------

事務事業名	防災意識普及啓発事業(緊急雇用創出事業)		
担当部局名	担当室名	室長名	
企画財政部	危機管理室	田中 浩之	

会計区分	事業コード	455501
一般会計	(中事業名)	予算書事業名
款	消防費	防災意識普及啓発事業(緊急雇用創出事業)
項	消防費	(小事業名)
目	防災対策費	防災意識普及啓発事業(緊急雇用創出事業)

## 1. 事務事業の位置付け

総合計画	政策	3	人が行き交い活力あふれる、安全で快適な暮らし
	基本政策	2	安全で安心な地域づくり
	施策	1	防災
	小施策	1	災害に強いまちづくり
重点施策コード			

## 2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
防災体験学習コーナーを活用することにより、市民の防災意識の高揚及び防災知識・技能の普及啓発に努めます。
事業内容
緊急雇用創出基金事業によって雇用した人材を活用し、防災センター内にある防災体験学習コーナーの案内業務を通じ、多くの市民に対して防災の意識普及啓発を行うものです。

## 3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.24年度(事業量・取組実績)	H.25年度(事業量・取組計画)	H.26年度(事業計画)	H.27年度(事業計画)	H.28年度(事業計画)
主な事業の実績・計画	・防災体験学習コーナーを活用した防災に関する正しい知識の普及及び防災意識の高揚 ・臨時雇用職員(15日/月勤務)2名で対応 ・共済費 324千円 ・賃金 2,120千円 ・印刷製本費 103千円	・防災体験学習コーナーを活用した防災に関する正しい知識の普及及び防災意識の高揚 ・緊急雇用創出基金事業の継続期間(4~5月)のみ、当該事業で対応し、6月以降は別途、職員により対応 ・共済費 42千円 ・賃金 206千円			

	H.24年度(決算見込)	H.25年度(作成時予算額)	H.26年度(計画予算)	H.27年度(計画予算)	H.28年度(計画予算)
直接事業費	2,547千円	248千円			
内訳(千円)					
国・県支出金	2,547	248			
地方債					
その他( )					
一般財源	(0) 0	0	0	0	0
人工数					
職員	0.05人	0.01人			
臨時職員等	1.38人	0.13人			
概算人件費	(0千円) 385千円	77千円	0千円	0千円	0千円
+ 総事業費	(0千円) 2,932千円	325千円	0千円	0千円	0千円

## 4. 担当室による事務事業の点検 (\*点検等による成果向上や見直しが困難な事業(法令等による義務的経費、災害復旧等緊急事業など)は点検対象外)

考察(H.24年度の取組評価、課題)	今後の対応方針(課題解決への取組、工夫・改善の内容)
東日本大震災から時間が経過し、利用者数は減少傾向にあります。緊急雇用創出基金事業を活用して臨時職員を雇用していますが、当該職員を十分に活かすことができず、効率的な施設の運用ができませんでした。	専任職員を廃止し、他業務との兼務職員により効率的な運営を行うとともに、当該コーナーの活用を遠足等学校行事に組み込まれるよう働きかけるなど、利用者数の増加を図ります。

点検項目	内容(施策達成への貢献内容、連携・協働の実践・検討内容)
(1) 事業内容や取組成果は、総合計画の施策達成に貢献しているか B(いずれかの施策指標達成に貢献又は基本方針達成に貢献)	地震等の災害への備えをしている市民の割合は、一定の増加を見せています。
(2) 地域づくり組織、市民活動団体等との連携・協働は図れないか 該当しない	

## 5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

[選択肢] 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	事業完了(予定含む)
具体的な見直し内容・検討内容、継続の理由	6. 事務事業の取組に関する主な市の計画 名張市地域防災計画